

【資料4-1】 重点目標等への位置づけについて

経営戦略部 情報戦略課【事務局】

- デジタル強靱化戦略を全庁一体で進める必要があることから、**令和3年度より各部局の重点目標または、課題懸案事項にデジタル化に関する施策等を明記することとします。検討においては、各課で施策を検討していただき、各部局で明記する施策については判断してください。**
- 詳細の記載方法や様式等については、別途通知いたします。
- 重点目標・課題懸案事項には、**各部局の業務を俯瞰してデジタル化すべき業務や課題について記載**してください。
- 例えば、「パソコンの購入」などの単発的な物品購入などは記載不要です。
- イメージとして、以下のような取組を記載してください。**
 - ・例1：◆◆部では市民や事業者からの申請が依然として紙で行われ、膨大な業務処理時間を要しており、通常業務を行うにあたり支障となっている。これらを解消するために、電子申請システムの活用及び業務の見直しを行いたい。
 - ・例2：■■部で受領している地域からの申請書等について、市民側からも電子申請化の要望が増えてきていることや、受領側の担当課としても作業効率が悪いため業務工程の見直しも含めデジタル化を進めたい。
 - ・例3：●●部▲▲課の許認可については、職員の知識・ノウハウが多分に求められるところであるが、それらが属人的になっており、職員によって対応の負荷が異なる。特に新人職員・異動間もない職員は過度な負担となる可能性がある。これらを解消するために、過年度までのデータとAIを活用した職員補助システムの導入を検討したい。
 - ・例4：□□部が担当している工事等は従事者の減少等が懸念されるため、新たな技術を活用した工事実施等を検討したい。 等
- 令和2年度に導入した各種ツールを積極的に活用していただくとともに、**現在の業務を単純にデジタル化(◆◆工程に××社の■システムを導入)するという視点ではなく、市民・事業者の目線にたって、「イチイチ感」「わざわざ感」を無くすためにはどのような申請や手続き、窓口対応等が理想なのかを検討していただき、それを実現するにはどのような技術が必要なのかを検討していただきたい。**
- さらに、職員自身の負担が如何にしたら軽減、効率化され、本来対応すべき業務に十分な時間を割くことができるかをイメージしてデジタル化について検討していただきたい。